

地図と連動した災害・防災情報の収集共有 「防災情報共有システム」 （「防災GIS」）

○取組前の状況

災害時においては、各関係機関が出している複数の情報やWebサイトを確認しなければ、総合的な情報が得られなかった。

○取組の概要

- ・ 災害情報をひとつのWeb地図上で共有することにより、状況認識の統一、対応の効率化を図る。
- ・ コスト低減化のため、他の地方公共団体等で運用実績のあるシステムを活用し、本県の整備方針との整合性を考慮し、迅速で確実かつ効率的な構築を図る。
- ・ 関係者への研修や訓練を行い、利用の可能性が高まる出水期から本運用する。

○今後の目指す方向性

- ・ 地図上に高潮や津波などのハザードマップが表示され、潮位観測情報や監視カメラの映像が便利に確認できるシステムへの進化を図る。
- ・ 関係者や住民からも情報の取得ができるようになる。（「オープンデータ」化）

具体的な内容

閲覧したい情報をクリックすると、当該登録情報の詳細画面に移行（登録情報の修正、削除もここから行うことが可能）

地図表示も当該登録情報地点に移行

地図上のアイコンにカーソルをあわせると登録情報概要がポップアップ

一覧をクリックすると、元の検索一覧画面に戻る

災害発生箇所近辺のハザード情報の確認も一目で可能

重ね合わせたいハザード情報の選択が可能